

～環境省視察～

希望の会福祉会のぞみの家では、主にパソコンなどの使い終わった小型家電を寄付いただき、解体分別を行い再資源化する仕事をしています。解体分別作業も今年で5年目になります。パソコンなどの小型家電には、金・銀・銅をはじめとするレアメタルが大量に使用されており、それを取り出し新たな資源として生まれ変わらせることで、小資源国家である日本でもトップクラスの資源国家になりうるのです。

また、このような廃家電品に含まれる資源のことを『都市鉱山』と呼ばれています。

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの全ての受賞メダルがこの都市鉱山で作られることが決まり、世界初の試みだそうです。近年、都市鉱山の発掘・再資源化が世界中から見ても注目されているのです。そこで、平成30年11月19日に環境省のオリンピックのメダルプロジェクトを担当している環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室のメダルプロジェクトリーダーの方が、新潟で大々的に活動している新潟県基板ネットワーク（解体分別作業を行う就労支援施設が集まった組織）に加盟する施設に視察に来られました。県内の3施設に訪問してくださり、長岡にあるのぞみの家にも30分程度ですが、施設で働く様子を視察くださいました。すごい技術を持っており素晴らしいと感じてくださったようです。日本は家電製品の産出国であり、メーカーもたくさんありますが、使い終わり廃家電となったものの処理はまだまだ未熟な部分が多く、中国をはじめとする諸外国にそのすべてを依存していたのが実情です。廃家電による環境問題や資源の国外流出など多くのリスクがあり、その対処も先延ばしにされてきました。平成25年に家電リサイクル法が施行され、家電のリサイクルも本格的に着手され始めましたが、まだまだ対応しきれていないのが現状なのだと思えます。本年度は、その家電リサイクル法の見直しをする期間だそうです。この就労支援施設で行われるリサイクル活動は、今の日本において、「とてもマッチしている。」とおっしゃられていました。また、オリンピックのメダルプロジェクトは、オリンピックがゴールではなく、その先を見据え、将来の循環型社会構築の足掛かりにしたいとのことでした。

これからも、のぞみの家では真摯に福祉や環境に向き合い、この事業を続けていきたいと思えます。それにしても循環型社会の一役を施設で働く皆さんが担う事を想像すると、わくわくしてしまいます。

～退職する職員より挨拶～

のぞみの家支援員 鈴木 暁大

この度、12月いっぱいをもって退職することになりました。のぞみの家で働かせていただいた3年8か月は私にとって掛け替えのない思い出となっています。様々なことを学ばせていただきました。本当に今まで支えてくださった職員、ご家族の方々、地域の方々、そして一緒に働いてくださった利用者みなさんに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。皆様方が活躍し発展していかれることを心よりお祈り申し上げます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。2019年は元号が2つになりますね。平成と〇〇。

時代とともに様々なことが大きく変化していきますね。変化する・進化する 大事なことと思えます。でも、変えてはいけぬもの・変わってはいけぬものもあると思えます。それを見極める力を持ちたいと思った年明けでした。本年もよろしくお願いいたします。

編集委員：森田、高橋、矢尾板、小宮、佐藤

～新しい年も入学祝い・ご家庭のご進物・社用のお使い物など「醤油おこわ」のご用命をお待ちしております～

2019.1.15 NO.7

NPO 法人 希望の会福祉会

〒940-0061

長岡市城内町 3-5-11

北野ビル 2F

☎0258-89-7883

希望の会福祉会通信

～ 一歩ずつ 未来へ ～

時代のバトンは何処へ

理事長 森田 直子

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を新たな気持ちでお迎えのことと存じます。

平成が間もなく終焉を迎えようとしています。

昭和から平成そして……。時代が変わっても変わらないものがあります。精神科医療に言及すれば、日本は未だ精神病院大国であり、世界の精神病床の2割がこの細長い列島にあるという驚愕すべき事実です。

国は「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて様々な施策を提案していますが、大きなポイントは、入院患者さんの地域移行です。しかし、年間多くの患者さんが精神病院で一生を終るということを忘れてはなりません。

「生産性がない人間は価値がない」という社会の価値観、そして、平成史上最悪の被害者を出した相模原事件、少子高齢化、格差、非正規雇用、再燃する「自己責任論」、平成は、次世代に何を繋いでゆくのでしょうか。

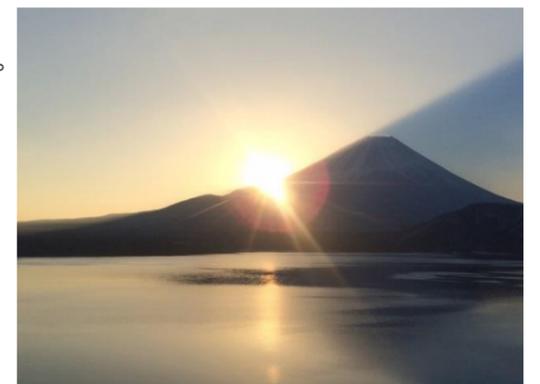
今年、22年ぶりに50作目となる映画「男はつらいよ」が公開されます！

「生産性」という言葉が飛び交う現代社会をあのフーテンの寅さんが、どんな顔で登場するのか楽しみです。「毎日生きているとき。時々、ああ、生まれてきてよかったなって思うことがあるじゃないか。そのために生きているんじゃないかな。」という寅さんの名言が引きこもりのお子さんを長年支えているお母さんの「生まれてきてよかったなと子どもが思ってくれることが願い。」という言葉と重なりました。

みんなそれぞれの世界で一生懸命生きている。生産性のない人間なんてこの世には一人もいないことを新年にあたり、皆様方と共有できれば幸いと思えます。

本年も法人理念のもと、新たな時代を切り開きたいと存じます。

よろしくお願いいたします。



～新年の抱負～ 各所職員・利用者より



■ 希望の家

サービス管理責任者 菊入 恵

今年の希望の家の抱負は、おこわの販売先の拡大と作業量の確保です。現在おこわの販売先は3カ所あり、その他に随時イベントへの出店、予約販売を行っています。イベントは休日がほとんどで、多くの利用者が携わることが難しいため、平日の販売先を増やし、なるべく幅広く利用者に参加してもらえたらと考えています。

作業量の確保については、季節商品が終了してしまうと冬の作業が激減してしまいます。今後は通年作業を確保しながら、安定した工賃の支給ができるようにしていきたいと思います。

また、利用者一人ひとりが安心して通所ができるように職員一同、誠心誠意努めたいと思っています。

利用者 田中正夫

☆まず一番目は、休まないで通所すること。できれば、自転車で通り道の金木犀の香りや灯台躑躅(ドウダンツツジ)の白い花に出会うことができれば、なお幸せです。2番目は、節約です。平成30年でいろいろと贅沢をしたので、栄養不足にならない程度に実行したいです。3番目は、和気あいあいと楽しく過ごすことです。誰とでも気持ち良くお付き合いすることを大切にしたいと思います。

■ のぞみの家

管理者 小黒 和子

昨年の4月に登録者26名でスタートしたのぞみの家は、2019年は28名で新年を迎えました。

昨年は以前から要望があった作業スペースの拡大として2階を借り、ゆったりとしたなかで作業ができるようになりました。また、新たな授産活動として「かぐや姫」と名付けた竹串の制作を始めました。

南魚沼市の漁業組合の鮎釣りの解禁に合わせ販売することができました。新たな繋がり、ご理解をいただきご注文いただけたことは利用者の喜びになりました。

のぞみの家の基板事業は、中越地区の中心となり回収依頼が増えています。昨年に比べ回収量が増加したことや、ホームページなどで基板事業を知り問い合わせが増えたことは喜ばしいことです。また、私達職員が一番嬉しいことは、利用者様のご家族と顔合わせる機会が増えてきたことです。

今年もご家族の方からご意見をいただきながら、よい支援に繋げていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

利用者 T・N

☆ケガしたり体調を崩さないように一年を過ごしたいです。

■ ふぁーれ

支援員 丸山 ゆかり

『灯台』2015年の開所から4年が経とうとしています。精神障がいを抱えて地域で暮らしていくには、ちょっとしたことで、彼らにとって大きな壁にぶち当たるような困難さを身近で共有させてもらっています。一緒に過ごす日々で、もがき苦しみながらも前に進むエネルギーは、他者のマイナスのエネルギーもプラスに変えられる力があります。更に、マイナス面を共有することで笑顔に変えられることも、ふぁーれでは出来ます。一人では不可能なことを、苦しむ者同士共に歩むことで新たな光が見えてくるような気がしています。「支援する人」「助けられる人」と代名詞を置くのではなく、温かな大きな灯台(phare: 仏語)を中心に誰もが手をつなぎ合った関係を築き、時に手を差し伸べて、時に助けられてできる大きな輪が広がっていきつつあります。

利用者 H・K

☆今年は寿司が食べたいなあ。春になったら丘陵公園に行きたいし、旅行も楽しみだな。

～地域交流会を開催しました！～

11月3日(土)、希望の会福祉会 地域交流会を開催しました。今回で11回目を迎えた交流会は、しょうゆおこわの販売やバザー、うどん・カレー、野菜の販売に加え、今年はこのぞみの家で消費生活センター様による出前講座も開催しました。

悪質商法に合わないための方法をお話や寸劇を交え参加者にわかりやすく教えていただくことができました。

関係者の皆さまや地域の皆さまより多数のご参加、ご協力をいただきまして大変ありがとうございました！



(上:出前講座の様子)

～各所で忘年会有りました～

希望の家 12月21日 富寿司



のぞみの家 12月10日 月の魂



ふぁーれ 12月12日 アクアール長岡

